

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

●
【コーディネータコラム】
URA・社会連携センター
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴
●

3月に入り、いよいよ春の訪れが実感できるようになってきました。本学では先月 25 日に一般選抜入試(前期試験)が行われ、たくさんの受験者で賑わいました。今年の志願者は、後期試験も含め大学全体で前年比+871人(+32.3%)となり、大幅な増加となりました。特に医学部(+40.8%)や工学部(+36.3%)の増加が著しいのですが、他の学部でも前年比で増加しました。これは、新型コロナウイルスが受験生の志願動向にも影響を与えている可能性もありますが、本学に携わる者といたしましては、山梨大学の認知度が高まった結果と捉え、喜びたいと思います。

さて、新型コロナウイルスの第6波はピークを越えた感がありますが、未だ高止まりの中で一進一退の状況が続いています。山梨県内においても患者数の急増を受け、感染が確認された患者さんは、病院のほか山梨大学が運営する県内3カ所の医療強化型宿泊療養施設や、宿泊療養ホテルへの入所が行われています。これらのホテルの収容能力にも限界があるため、新たに「ホームケア型療養」が行われています。こうした厳しい状況の中、山梨大学が開発した「SHINGEN システム」が、医療現場の崩壊を防ぎ、山梨県が提唱する経済活動の継続を目的とした「山梨モデル」を支えていることをご存知でしょうか。

SHINGEN システム(Smart Health INformation Gathering & Evaluation Network システム)は、宿泊療養から退所後のケアまでシームレスに医療スタッフが患者情報を共有する事が可能となるシステムで、医療版 DX(デジタルトランスフォーメーション)による医療崩壊を防ぐためのシステムです。

同システムは、患者さんが自分の症状(体温や血中酸素濃度などの数値データや息苦しさ、倦怠感など)をスマホのQRコードを使って入力し、それが医療者のPC上にあられるなど、他の医療従事者とも情報を一元管理できる画期的なシステムです。

医療者は個々の患者さんの状態をリアルタイムに把握できるので即座に対応可能となり、患者さんは医療の目が入るので、どこにいても安心して生活できるという仕組みです。

山梨県内の新型コロナウイルス感染による自宅療養者は、2月には一時5,000人を超えるまでに増加しましたが、本システムが医療崩壊を防ぐために大きな戦力となっているのは言うまでもありません。

※SHINGEN システムとは：<https://www.yamanashi.ac.jp/36059>を参照。

私は地域連携コーディネータとして着任してから、2度目の春を迎えました。

最近、企業から持ち込まれる技術相談は、個別企業の技術課題だけでなく地域や社会の課題に関するものが増えてきました。具体的には、高齢化や人材不足対策のためのスマート農業や、廃棄物をクリーンエネルギーや有価物に転換して再利用するための技術や知見による支援です。

これは持続可能な社会の実現、すなわちSDGsを意識した取り組みが求められていることを、企業が特に意識するようになったことがその

背景にあると思われます。

本学ではこれらのテーマに対しては、微生物の活用や AI など深層学習を使った画像処理等、本学が得意とする研究シーズ等を提供し、課題解決を支援しています。

最後に主な講座についてですが、令和 3 年度の「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」、「医療機器産業技術人材養成講座」の閉講式がそれぞれ行われ、前者は 21 名、後者は 22 名が無事終了されました。これからの活躍を期待しています。

なお、令和 4 年度の「医療機器産業技術人材養成講座」および「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」の受講者の募集も 3 月 1 日から始まり、新年度の講座は 4 月からスタートする予定です。

大学も各種講座も新たな学生や人材を迎え、新年度もコロナに負けない活気あるスタートになることを心から祈念しています。

インフォメーション 目次

01：	トピックス	(1 件)
02：	イベント	(3 件)
03：	セミナー情報	(4 件)
04：	助成事業および公募情報	(4 件)
05：	事務局からのお知らせ	

□ ■

■01 トピックス (1 件)

◆2022 年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」受講生募集 (第 1 次募集 4 月 1 日まで)

山梨大学は山梨県から委託を受け、県内産業界の社会人技術者等を対象に、水素・燃料電池関連技術の知識を習得する機会を提供し、燃料電池関連産業分野への参入に取り組みやすい環境を整備するため、2016 年度から「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」を開設しています。

2022 年度で 7 年目となりますが、120 名近くの修了者を輩出し、その多くが水素・燃料電池関連産業に関わり始めています。

水素・燃料電池産業に参入したいが、どんな技術を必要とするのか不明だという会社経営者や技術者の受講をお待ちしております。

新入社員教育にもご活用願います。

COVID-19 の影響もあり、対面ではなく ZOOM によるオンライン講義になる場合もあります。

4 月 13 日(水)開講式、4 月 14 日(木)に第 1 回講義を予定していません。

【受講期間】令和 4 年(2022 年)4 月 14 日(木)

～翌年 2 月(計 40 週)

原則毎週木曜日の 18:00~21:00(計 120 時間)

開講式の日程は未定です。

【開催場所】山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター 他

※新型コロナウイルスの状況により、ZOOM によるリアルタイム講義になる場合があります。職場、ご自宅等での受講になります。

【受講料】無料(原則)

【申込方法】以下 HP から関連書類をダウンロードして山梨大学に提出してください。

<https://sway.office.com/xUsAOCNdyWMXNjEk?ref=Link>

※関連書類は山梨大学水素燃料電池技術支援室にも置いてあります。
修了者には、「修了証」、学校教育法に基づく「履修証明」を授与いたします。

定員(20名)に限りがありますので、予めご承知おきください。

【お問い合わせ】「山梨大学水素燃料電池技術支援室」(小林)
TEL 055-254-7098
hfc-info@yamanashi.ac.jp

本事業の募集は、山梨県の令和4年度予算成立後、速やかに事業を開始できるようにするため、予算成立前に募集の手続きを行うものです。本事業の実施は、令和4年度予算の成立が前提であり、今後、内容等が変更・中止になることもありますので、あらかじめご了承ください。

□ ■

■02

イベント情報

(3件)

◆FCyFINE プロジェクト「シンポジウム 2021」の開催のご案内

山梨地域では、2017年度から2021年度(本年度)までの5年間、文科省地域イノベーションエコシステム形成プログラム

「FCyFINE：やまなし燃料電池バレーの創成」の活動に取り組んできました。

今回、終了に合わせFCyFINEの5年間の活動実績を紹介し、今後の山梨地域の水素・燃料電池関連産業振興を考えるシンポジウムを開催することにしました。

FCyFINEでは、水素社会の早期実現に向け燃料電池の多分野での製品普及が期待される中、山梨大学の培ってきた革新技術を活かし、同時に山梨県の戦略的な産業化支援および県内企業との強い連携を以て、アシスト自転車等駆動系アプリケーションのための燃料電池小型電源システム、電池本体のコア部材であるセパレーターとGDLの一体化部材、超均一塗布の実現を目指した静電スプレー法による触媒塗布装置、これら3つの製品開発・事業化プロジェクトを推進してきました。更には、この様な活動を通じ、水素・燃料電池に関わるさまざまな新事業の創発とともに、研究深耕と産業拡大を目指す燃料電池の重要産業拠点「やまなし燃料電池バレー」の実現に繋がる活動に挑戦してきています。

上記活動報告に加え、地域イノベーションエコシステム形成プログラムのアドバイザーとして活躍されている(国研)科学技術振興機構顧問元東京工業大学学長である相澤益男氏及びみずほリサーチ&テクノロジーの米田氏の講演を予定しています。更には、FCyFINE活動を継承し、より発展的な活動を進める一般社団法人「FCyFINE PLUS」の取り組みをFCyFINE PLUS代表理事である高野孫左衛門氏(榎吉字屋本店代表取締役社長)から紹介いたします。

今回は、感染症防止対策のため、Zoomによるオンラインでの開催とさせていただきます。

ご興味のある方は、下記のURL等から、ご参加申し込みいただきますようお願い申し上げます。

日 時： 令和4年3月9日(水)14:00-17:30

開催方式： ZOOMによるオンライン。予約制。無料。

内 容：

第1部：FCyFINE実績(5年の成果)

事業プロデューサー、各PJの中心研究者・中心企業の報告

①FCyFINEの全体概要

②PJ1：電源用燃料電池システム事業

③PJ2：ガス拡散層一体型金属セパレーター供給事業

④PJ3：静電スプレー(ES)法による触媒層付き電解質膜(CCM)製造装置事業

⑤基盤構築PJ(人材養成・水素インフラ整備)

第2部：講演

①「地域エコシステムが拓く未来」

(国研)科学技術振興機構顧問東京工業大学名誉教授・元学長
相澤 益男氏

②「カーボンニュートラル実現に向けた水素・燃料電池の最新動向」

みずほR&T 米田 雅一氏

第3部：FCyFINEの継承

①一般社団法人の設立と今後の活動計画

FCyFINE PLUS 代表理事(株)吉字屋本店代表取締役社長
高野 孫左衛門氏

【申し込み方法】

下記 URL からお申し込みください。 締切り 3月4日(金)
お申込者に、ZOOMの招待メールを送付いたします。

<https://forms.office.com/r/jzST5Nbsvh>

【お問い合わせ】

山梨大学 研究推進・社会連携機構

水素・燃料電池技術支援室 佐藤

電話 055-254-7161 hfc-info@yamanashi.ac.jp

◆世界最大！水素・燃料電池展「FC EXPO」開催のご案内

水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術・材料、装置、燃料電池システムが出展。世界中から本分野の専門家が来場する国際展です。

会 期：令和4年3月16日～18日

会 場：東京ビッグサイト

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.fcexpo.jp/ja-jp.html>

◆【山梨県】中部横断自動車道開通記念リレーシンポジウム開催のご案内

中部横断自動車道山梨～静岡間の全線開通により、県内の産業・物流、観光、防災・医療など様々な分野に好影響をもたらすことが期待される中、県内経済への波及効果や更なる期待・展望について、各分野に携わる県内企業の皆様と意見交換を行うシンポジウムを開催します。

参加方法はご来場又はWEB視聴となっておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和4年3月14日(月) 14:00～15:30

会 場：【現地】山梨県立図書館イベントスペース

【Web視聴】

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/kousokudouro/chyuubuou_dann.html

チラシ

https://kofucci.or.jp/upload/news/4/000006074/pdf_02.pdf

◆【甲府商工会議所】QC検定4級受験対策 品質管理基礎セミナー

品質管理活動は業種・企業規模を問わず取り入れることができ、企業活動の活性化に大きく貢献するものです。

そこで山梨県品質管理研究会では、新入社員や大学生・高校生を対象に品質管理の基本や日々の業務改善に役立つ手法についてのセミナーを企画しました。QC検定4級の対策にもなりますので、奮ってご参加ください。

日 時：令和4年3月12日(土) 9:00~17:30
会 場：【現地】甲府商工会議所 201 会議室
【オンライン】Zoom

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/seminar/20220312/>

◆【ジェットロ山梨・甲府市・甲府商工会議所】
初心者のための英文ビジネスEメール入門

本講座では、英文Eメールの基本構成や書き方に加え、貿易取引の各シーンにおいて分かりやすくかつ感じよく伝わる英語表現を学びます。貿易実務初心者の方が対象ですが、既に日常的に英語でやり取りをしているものの、自己流で進めてきたので自信がないという方にもオススメの講座です。この機会に是非ご参加ください。

日 時：令和4年3月17日(水) 9:30~16:30
会 場：オンライン(Zoom)

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://kofucci.or.jp/upload/seminar/0/000002100/pdf_02.pdf

◆【甲府商工会議所】コンプライアンス・リスク管理から考える商品開発の基礎セミナー&商品マッチング交流会

商品開発における注意点や失敗事例を紹介し、法令に遵守した正しい商品づくりを解説いたします。商品企画や品質管理担当者に役立つ情報をお伝えいたします。

また、セミナー終了後には「商品マッチング交流会」を開催いたします。各社のオススメ商品やサービスを持ち寄り、新たな商品企画の創出を目指します。

どちらも参加費無料です。ぜひご参加ください。

日 時：令和4年3月18日(木)
【第一部】セミナー 13:30~14:30
個別相談会 14:30~14:45
【第二部】マッチング交流会 15:00~17:00
会 場：甲府商工会議所 201 会議室

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/seminar/20220318/>

◆【甲府商工会議所】SDGsセミナー
~SDGsを取り込み企業の持続可能な成長につなげる!~

大企業や海外企業および機関投資家は「環境・社会に配慮し活動する企業」を調達先・取引先・投資先に選ぶ傾向が拡大しつつあり、今後、

企業のビジネス機会獲得に SDGs への取組が一層重要となることが予想されます。

また、企業における SDGs の取組においては、経営者・管理者の方のみならず、従業員みなさまの共通認識として社内で取組むことが重要です。

本セミナーでは、SDGs を企業経営に取り込み持続可能な成長につながるためのポイントや事例等について、分かりやすくお伝えします。

日 時：令和 4 年 3 月 18 日(金) 13:30~15:30

会 場：【現地】甲府商工会議所 5 階ホール

【オンライン】Zoom

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/seminar/20220318-1/>

□ ■

■04 助成事業および公募情報 (4 件)

【中小企業庁】

①事業再構築補助金

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれからの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援します。

補助額、補助率

申請類型	補助上限額	補助率
通常枠	2000 万円 ~8,000 万円	中小企業 2/3
大規模賃金引上枠	1 億円	
最低賃金枠	500 万円 ~1,500 万円	中小企業 3/4
回復・再生応援枠		
グリーン成長枠	中小企業 1 億円	中小企業 1/2

詳しくは、決定次第下記 URL に掲載予定です。

<https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

②ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業(ものづくり補助金)

中小企業・小規模事業者等が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援します。

補助額、補助率

申請類型	補助上限額	補助率
通常枠	750 ~1,250 万円	1/2(小規模事業者等 2/3)
回復型賃上げ・ 雇用拡大枠		2/3
デジタル枠		
グリーン枠	1,000 万円 ~2000 万円	

詳しくは、決定次第下記 URL に掲載予定です。

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/about.html>

③小規模事業者持続的発展支援事業(持続化補助金)

小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって取り組む販路開拓や生産性向上の取組を支援します。

補助額、補助率

申請類型	補助上限額	補助率
------	-------	-----

通常枠	50万円	2/3
成長・分配強化枠	200万円	
新陳代謝枠		
インボイス枠	100万円	

④サービス等生産性向上 IT 導入支援事業(IT 導入補助金)
 中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合った IT ツールを導入することで業務効率化・売上アップのサポートを支援します。
 インボイス制度への対応も見据え、クラウド利用料を2年分まとめて補助するなど、企業間取引のデジタル化を強かに推進します。

補助額・補助率

申請類型	補助上限額	補助率
IT ツール	50万円～350万円	2/3
PC、タブレット	10万円	1/2
レジ等	20万円	

詳しくは、決定次第下記 URL に掲載予定です。

<https://it-hojo.jp>

□ ■

■05 事務局からお知らせ

◆会員企業様の課題をお伺いします

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
 会員企業様の持っておられる技術課題をお伺いします。
 インターネットを活用したご相談もお受けいたしますので、ご希望の
 会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■